

赤色灯で交通安全

網走で運動展開

網走市交通安全協会などは、春の行楽期に合わせて24日まで、交通安全運動を展開している。市内各所で赤色回転灯を使った「赤灯点滅作戦」を実施し、15日には市中心部の道の駅「流水街道網走」でもドライバーに交通安全を訴えた。

交通安全協会第一支部長を務める同市の元建設会社社長笠谷俊一さん(69)は、道の駅の駐車場に仲間と立ち、行き交う車の運転手に注意を促した。

笠谷さんは「暖かくなり、自転車に乗る子どもが増えている。ドライバーは赤い回転灯に気付くはずで、そこから自らの運転を戒めてくれれば」と期待していた。



赤ランプを点滅させて安全運転を呼びかける参加者(15日)